

熊本県央水災害対策合同会議 議事概要

【第6回 白川・緑川水系流域治水協議会】

【第3回 熊本県央地域水防災意識社会再構築協議会】

【令和7年度白川・緑川水防連絡会】

【令和7年度白川・緑川洪水予報連絡会】

日 時 : 令和7年5月15日(木) 13:30～15:30

場 所 : 水前寺共済会館グレース「鳳凰」

出 席 : 熊本県(河川課、下水環境課、砂防課、危機管理防災課、農地整備課、企業局 発電総合管理所、県央広域本部土木部、県央広域本部宇城地域振興局、県央広域本部上益城地域振興局、県北広域本部土木部、県北広域本部阿蘇地域振興局)、熊本県警察本部、熊本中央警察署、熊本南警察署、熊本東警察署、御船警察署、宇城警察署、熊本市、阿蘇市、合志市、大津町、菊陽町、高森町、西原村、南阿蘇村、宇土市、宇城市、甲佐町、御船町、嘉島町、美里町、益城町、山都町、防衛省、環境省、西日本電信電話株式会社、九州旅客鉄道株式会社、九州電力株式会社熊本支店、九州電力送配電株式会社、一般財団法人河川情報センター、一般財団法人日本気象協会、阿蘇ジオパーク推進協議会、九州防災エキスパート会、株式会社パスト24、農林水産省、株式会社 熊日会館、気象庁、林野庁、日本放送協会、緑川ダム管理所、阿蘇砂防事務所、熊本河川国道事務所

I. 次第

1. 開会
2. 挨拶
3. 議事
 - 1) 各協議会規約
 - 2) 気象・防災情報の共有について
 - 3) 流域治水や水防災意識向上に関する取組について
 - 4) 防災情報の共有について
4. 閉会

II. 意見交換での主な意見

- ・防災教育等におけるマイタイムラインの作成支援(熊本県、美里町、菊陽町、嘉島町、甲佐町)及びマイタイムラインの外国人向けの翻訳等の取り組み(熊本県)によって普及促進に努めている。
- ・防災体制拡充の取り組みとして、防災士資格の取得支援(美里町)や、自主防災組織と消防団・防災士等との合同訓練等を実施している。(熊本県、宇城市、合志市、嘉島町、甲佐町)

- ・小学校校庭への地下貯留浸透施設を設置、雨水浸透柵・貯留浸透施設設置支援、調整池の設置等の流出を減らす取り組みを実施している。（熊本県、大津町、菊陽町、嘉島町、甲佐町、西原村）
- ・水源涵養機能を有する阿蘇くじゅう国立公園の指定区域拡張（環境省）や野焼きボランティアの実施、森林贈与税の活用等、流域治水の観点から自然の保護・活用を実施している。（阿蘇市、南阿蘇村、環境省）
- ・ワンコイン浸水センサの実証実験への参加（熊本市、甲佐町、御船町）や洪水予測システムの設置、熊本県内初の特定都市河川指定（甲佐町）、大型商業施設におけるBCP策定支援（御船町、熊本市）の実施している。
- ・今後も国交省や熊本県と連携して流域治水対策を推進していこうと考えている。
- ・今後も国、県には河川改修の促進とともに、流域自治体のハード面・ソフト面に対する支援と協力をお願いしたい。

（事務局）

- ・御船川沿いに浸水深を表示したリアルハザードマップを設置する取組について、地域住民の意見を取り入れながら実施されているが、地域住民の参加によって防災効果が何倍にもなると考えている。
- ・もともと治水に関する取組が手薄であった中、リアルハザードマップの設置場所を検討するにあたり、地域住民の意見を取り入れることが一番よいと判断した。その結果、住民の意見による設置箇所は、当初行政で考えていた箇所とは異なっていた。このような行政と異なる地域住民の意見が今後も引き続き必要であると考えます。

（事務局）

- ・行政と地域で異なる部分をすり合わせるプロセスが重要だと考える。このような好例は他の流域自治体にもぜひ参考にさせていただきたい。

— 以上 —